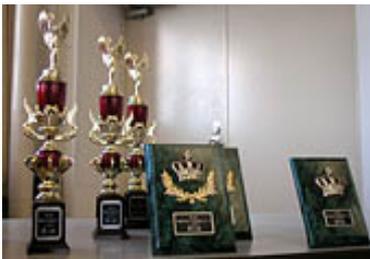




第9回

札幌大学ロシア語弁論コンクール

募 集 要 項



当コンクールは、学校や大学でロシア語を学ぶ人をはじめとして、生涯学習としてロシア語を学んでいる社会人を含め、ロシア語能力の向上を目指す方々のためのコンクールです。ロシア語学習者のロシア語能力を向上させ、ロシアの社会や文化への理解を深めることを目的としています。全国の初心者から上級者まで幅広い方々にご参加いただけ、上位入賞者1名にはロシア研修費補助（上限15万円）が授与されます。

当コンクールは本年度で最後の開催となります。ふるってご参加ください。

主 催	札幌大学外国語学部ロシア語学科
後 援	在札幌ロシア連邦総領事館、在北海道札幌サハリン州代表部、北海道新聞社、日本ロシア文学会
日 時	平成22年7月3日(土)午後1時より
場 所	札幌大学キャンパス内（札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号、 電話:011-852-1181 大代表）
部 門	A部門:ロシア語でスピーチ(テーマ自由、5分以内、暗唱)+ロシア語による質疑応答+課題テキスト朗読 ^① B部門:ロシア語でスピーチ(テーマ自由、4分以内、暗唱) C部門:事前に大会実行委員会から与えられた大会用『ロシア詩』テキストの中から任意の詩一つを暗唱(概ね10行前後)。
参加資格	ロシア語を学習しているすべての人。 ただし、次の場合には参加資格がありません。 1)両親またはそのどちらかがロシア語を母語とする人 2)ロシア語圏に通算1年以上滞在したことのある人 ^② 3)仕事で日常ロシア語を使用している人(ロシア語教師、通訳など)
応募締切	平成22年6月15日(火)(必着) 所定の申込用紙を下記申込み先に送付してください。A・B部門出場希望者はスピーチ原稿およびその日本語訳もあわせて送付してください(テキストは可能なかぎり電子媒体でお送り下さい)。 C部門出場希望者は大会用『ロシア詩』をご請求ください(4月中旬以降)。
応募確認	申込締切日(6月15日)以降約10日以内に、大会当日の集合時間、場所などの連絡事項をお送りし、それを受付確認とします。6月26日(土)までに確認が届かない場合、速やかに実行委員会までご連絡ください。
参加費	無 料

出 場 順	C 部門、B 部門、A 部門の順に行います。出場順は当日までに実行委員会にて厳正な抽選のもと決めさせていただきます。
審 査 員	審査委員会は、札幌大学ロシア語学科の教員のほか、在札幌ロシア総領事館や在北海道札幌サハリン州代表部のロシア語ネイティブスピーカーその他から構成されます。
審査方法	<p>各部門の採点基準は以下のとおりで、審査員全員の合計点をもとに賞を決定します。</p> <p>【A部門】 スピーチ内容:15 点、発表:15 点、質疑応答:10 点、テキスト朗読:10 点</p> <p>【B部門】 スピーチ内容:20 点、発表:20 点</p> <p>【C部門】 発表:20 点</p> <p>A・B・C部門ともスピーチや詩の朗読は原則「暗唱」とします。テキストを見た場合、審査では減点対象となります。スピーチはA部門が5分以内、B部門が4分以内です。制限時間を大幅に越えると減点対象となります。また、C部門においては、旋律をつけての「歌唱」は審査基準が「朗読・暗唱」とは異なるため、審査できない場合があります。</p>
褒 章	部門ごとに1位、2位、3位、またロシア文学会賞、ロシア総領事館賞、北海道新聞社賞、サハリン州代表部賞、審査員特別賞が選ばれ、それぞれ賞状と記念品が授与されます。A部門の上位1名には副賞としてロシア研修費補助(上限15万円)が授与されます。ただし、過去に本コンクールや他の同種の弁論コンクール(全国大会)に入賞し、その副賞でロシアに渡航したことのある人は、本コンクールの副賞受賞資格がありません。その際、副賞は下位入賞者に繰り下げます。
お問合せ・お申込み先	<p>〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号 札幌大学学生支援オフィス外国語学部 (電話:011-852-1181 大代表)</p> <p>佐藤 秀 電話:内線2138、E-mail: sato-shu@ofc.sapporo-u.ac.jp</p> <p>藤本 順 電話:内線2152、E-mail: jun-f@ofc.sapporo-u.ac.jp</p> <p>高橋 健一郎(担当教員、実行委員長)E-mail: takaken@sapporo-u.ac.jp</p>

《参加規定》

当コンクールご参加にあたっては、以下の参加規定をよくお読みいただき、ご了解いただいた上でお申込みください。

- ・ 申込締切日を過ぎて到着すると、申込を受理できない場合があります。
- ・ 都合により審査員、褒賞内容が変更になる場合があります。
- ・ 同時に二つ以上の部門に申込みことはできません。
- ・ A部門参加者への「課題テキスト」の当日事前配布は指定した時間内でしか行いません。この時間に遅れた場合は、下準備なしで朗読していただきます。
- ・ 参加者は当日指定された時間までに受付をすませてください。遅れると、出場できない場合があります。
- ・ 当日配布のプログラムには、参加者の氏名とスピーチのテキスト（A・B部門）を掲載いたします。また、生徒・学生の参加者については、在学名、学年も掲載いたします。
- ・ 結果が新聞等マスコミで発表される場合があります。

【申込内容の変更について】

申込受理後、A・B部門においてスピーチのタイトル、内容、日本語訳などに大きな変更がある場合、またC部門において一度申請した詩を別の詩に変更する場合、または出場する部門を変更する場合には、申込締切日（6月15日）以前にお知らせ下さい。ただし、テキスト本文の語句の変更が軽微な場合は、申請する必要はありません（審査に影響しません）。

① A部門の「課題テキスト」は大会当日の午前中に配布し、30分程度の時間で下準備をしていただきます。その際、辞書を用いたり、アクセント記号などをテキストに書き込んだりしても構いません。その後、テキストはいったん実行委員会が預かり、スピーチで登壇する時に再度お渡しし、それを朗読していただきます。

② 幼児期の滞在については、1年以上であっても出場を認める場合があります。ご相談ください。